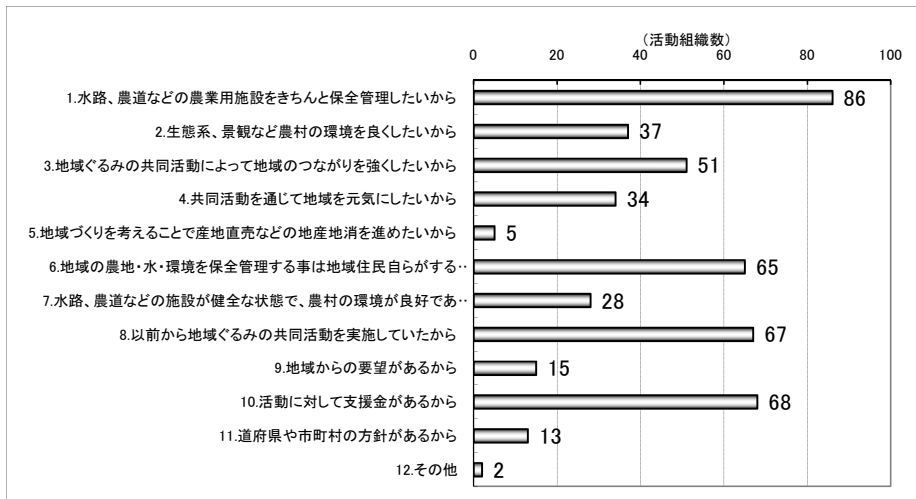


あなたの活動組織についておたずねします。

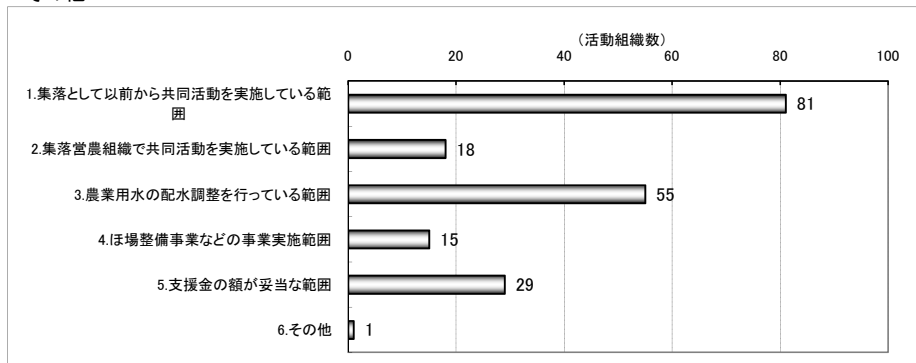
問1. あなたの活動組織で、本対策に取り組むこととした目的はどのようなものですか。
(複数回答)

1.水路、農道などの農業用施設をきちんと保管理したいから	86	83%
2.生態系、景観など農村の環境を良くしたいから	37	36%
3.地域ぐるみの共同活動によって地域のつながりを強くしたいから	51	49%
4.共同活動を通じて地域を元気にしたいから	34	33%
5.地域づくりを考えることで産地直売などの地産地消を進めたいから	5	5%
6.地域の農地・水・環境を保管理する事は地域住民自らがすべきことだと考えているから	65	63%
7.水路、農道などの施設が健全な状態で、農村の環境が良好であることは食の安全・安心につながるから	28	27%
8.以前から地域ぐるみの共同活動を実施していたから	67	64%
9.地域からの要望があるから	15	14%
10.活動に対して支援金があるから	68	65%
11.道府県や市町村の方針があるから	13	13%
12.その他	2	2%



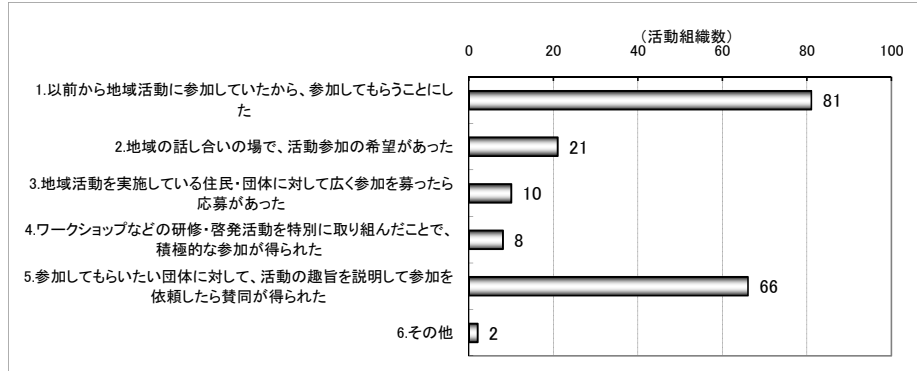
問2. あなたの活動組織では、活動の範囲(協定農用地)を決めたのは、どのような理由からでしたか。
(複数回答)

1.集落として以前から共同活動を実施している範囲	81	78%
2.集落営農組織で共同活動を実施している範囲	18	17%
3.農業用水の配水調整を行っている範囲	55	53%
4.ほ場整備事業などの事業実施範囲	15	14%
5.支援金の額が妥当な範囲	29	28%
6.その他	1	1%



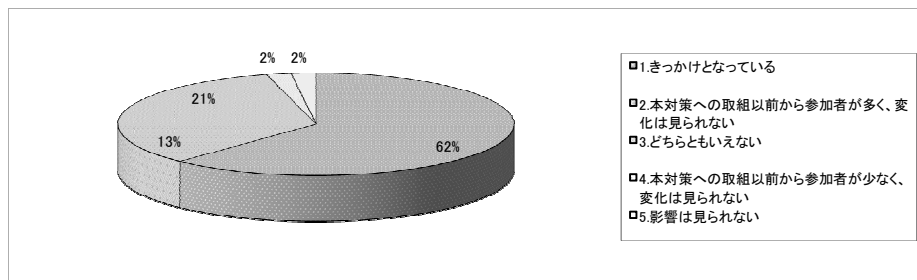
問3. あなたの活動組織では、構成員として地域住民や様々な団体(子供会、女性会、NPO等)にどのように参画してもらいましたか。(複数回答)

1.以前から地域活動に参加していたから、参加してもらうことにした	81	78%
2.地域の話し合いの場で、活動参加の希望があった	21	20%
3.地域活動を実施している住民・団体に対して広く参加を募ったら応募があった	10	10%
4.ワークショップなどの研修・啓発活動を特別に取り組んだことで、積極的な参加が得られた	8	8%
5.参加してもらいたい団体に対して、活動の趣旨を説明して参加を依頼したら賛同が得られた	66	63%
6.その他	2	2%



問4. 本対策への取組は、共同活動や地域のその他の活動にこれまで参加していなかった人が参加するきっかけとなっていると思いますか。

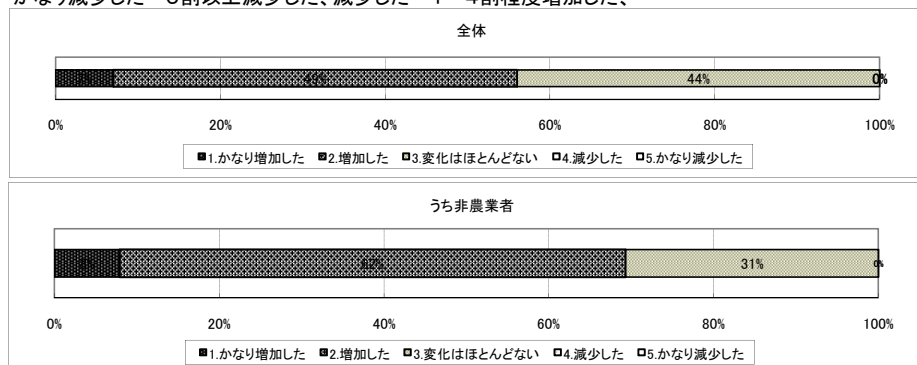
1.きっかけとなっている	64	62%
2.本対策への取組以前から参加者が多く、変化は見られない	14	13%
3.どちらともいえない	22	21%
4.本対策への取組以前から参加者が少なく、変化は見られない	2	2%
5.影響は見られない	2	2%



問5. 昨年度1年間の活動を振り返ってみて、本対策の取組に参加した延べ人数(それぞれの活動の参加者数の合計)は、対策導入以前と比較して変化しましたか。ただし、対策導入以前に実施されていなかった活動も含みます。

対象	回答	人数	割合
全体	1.かなり増加した	7	7%
	2.増加した	51	49%
	3.変化はほとんどない	46	44%
	4.減少した	0	0%
	5.かなり減少した	0	0%
うち非農業者	1.かなり増加した	8	8%
	2.増加した	64	62%
	3.変化はほとんどない	32	31%
	4.減少した	0	0%
	5.かなり減少した	0	0%

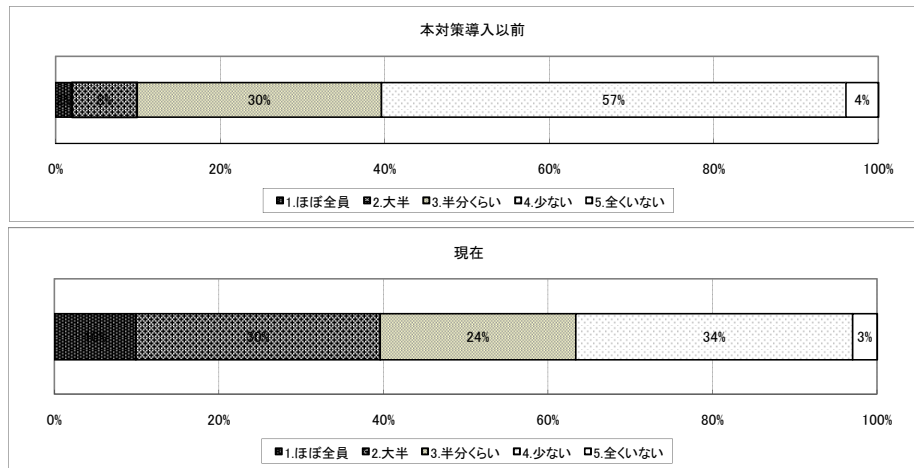
※かなり増加した=5割以上増加した、増加した=1~4割程度増加した、かなり減少した=5割以上減少した、減少した=1~4割程度増加した、



問6. 地域に住む子供たちのうち(活動に参加した子供たちのうち)、地域の環境や農業に興味を持っている子供たちはどの程度いると思いますか。

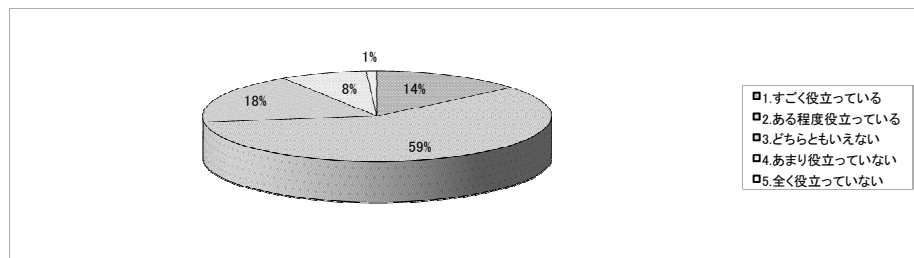
時期	1.ほぼ全員	2.大半	3.半分くらい	4.少ない	5.全くいない
本対策導入以前	2	8	31	59	4
現在	10	31	25	35	3

※ほぼ全員=9割程度以上、大半=7~8割程度、半分くらい=4~6割程度、少ない=1~3割程度、全くいない=0



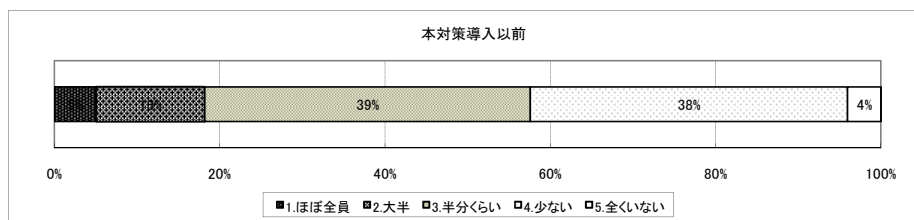
問7. 本対策への取組は、地域の農村環境を守っていくことについて、子供たちと一緒に考えたり、思いを伝えたりする場として役立っていると思いますか。

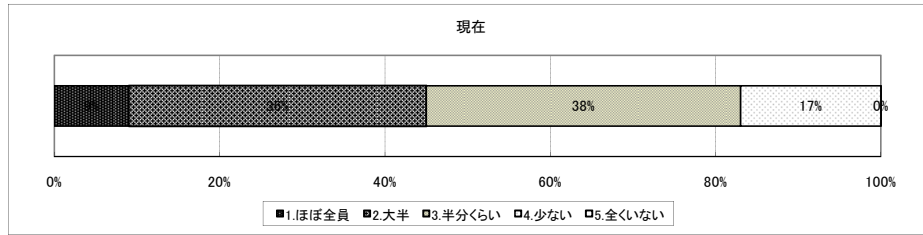
1.すごく役立っている	2.ある程度役立っている	3.どちらともいえない	4.あまり役立っていない	5.全く役立っていない
15	61	19	8	1
14%	59%	18%	8%	1%



問8. 共同活動を通じて、地域の資源や環境は自分たちで守り、子どもたちや若い世代にきれいで良好な農村環境を引き継がなければならない(引き継ぎたい)と意識するようになった人はどの程度いると思いますか。

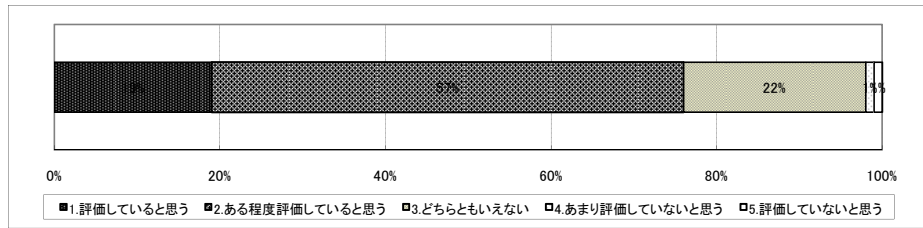
時期	1.ほぼ全員	2.大半	3.半分くらい	4.少ない	5.全くいない
本対策導入以前	5	14	41	40	4
現在	9	37	40	18	0





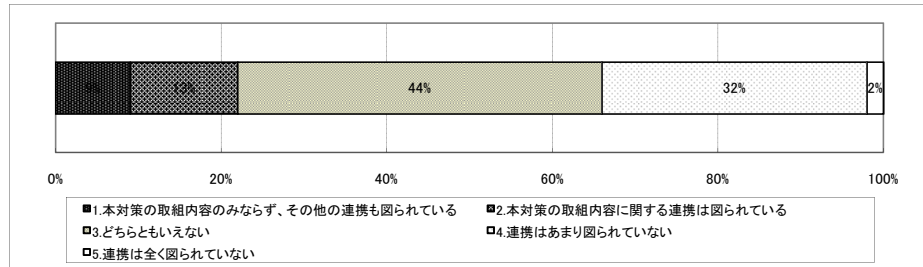
問9. この対策に参加していない周辺住民の方は、あなたの活動組織の様々な活動を見てどのように感じていると思いますか。

1. 評価していると思う	20	19%
2. ある程度評価していると思う	59	57%
3. どちらともいえない	23	22%
4. あまり評価していないと思う	1	1%
5. 評価していないと思う	1	1%



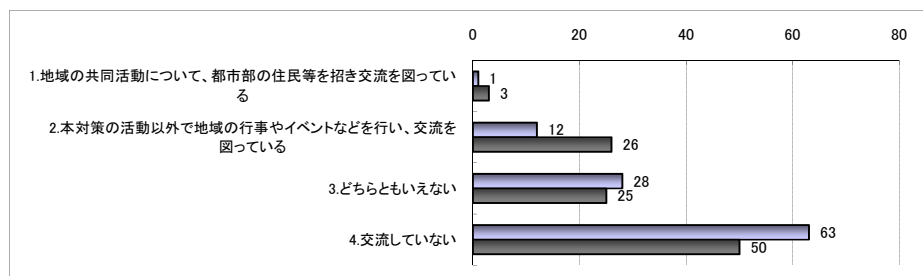
問10. 本対策の活動について、集落間で話し合ったり、共同で活動したりするなどの集落間連携の状況はいかがですか。

時期	評価	人数	割合
本対策導入以前	1. 本対策の取組内容のみならず、その他の連携も図られている	9	9%
	2. 本対策の取組内容に関する連携は図られている	14	13%
	3. どちらともいえない	46	44%
	4. 連携はあまり図られていない	33	32%
	5. 連携は全く図られていない	2	2%
現在	1. 本対策の取組内容のみならず、その他の連携も図られている	18	17%
	2. 本対策の取組内容に関する連携は図られている	62	60%
	3. どちらともいえない	16	15%
	4. 連携はあまり図られていない	7	7%
	5. 連携は全く図られていない	1	1%



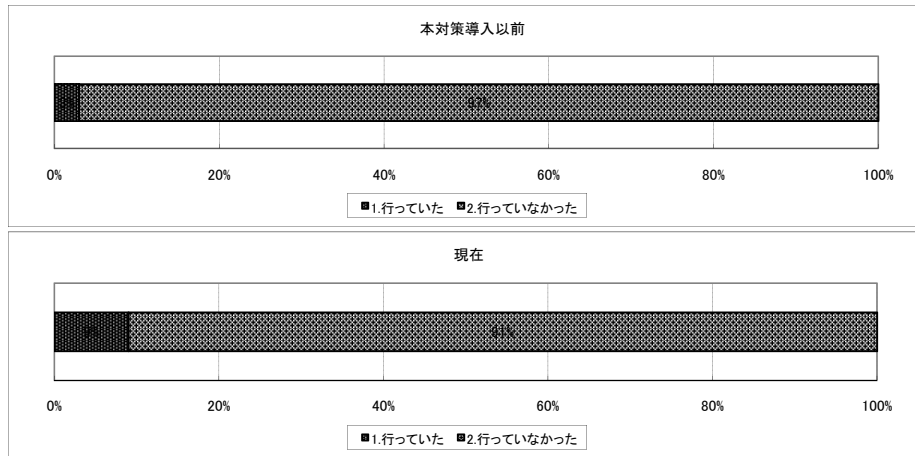
問10-1. あなたの地域で、都市部の住民等との交流の状況はいかがですか。(複数回答)

時期	評価	人数	割合
本対策導入以前	1. 地域の共同活動について、都市部の住民等を招き交流を図っている	1	1%
	2. 本対策の活動以外で地域の行事やイベントなどを行い、交流を図っている	12	12%
	3. どちらともいえない	28	27%
	4. 交流していない	63	61%
現在	1. 地域の共同活動について、都市部の住民等を招き交流を図っている	3	3%
	2. 本対策の活動以外で地域の行事やイベントなどを行い、交流を図っている	26	25%
	3. どちらともいえない	25	24%
	4. 交流していない	50	48%



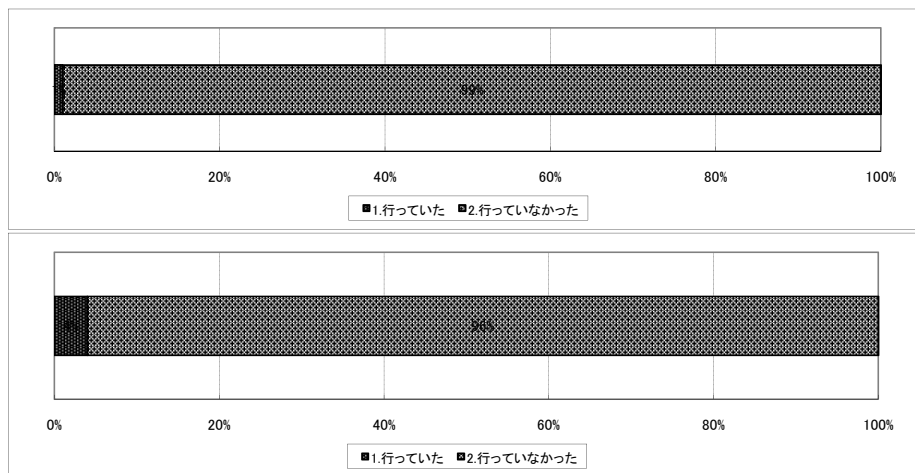
問10-2. あなたの地域で、生きもの調査などに関し、企業及びその関係者等と共同調査を行うなど連携の状況はいかがですか。

時期	1.行っていた	2.行っていなかった
本対策導入以前	3 (3%)	101 (97%)
現在	9 (9%)	95 (91%)



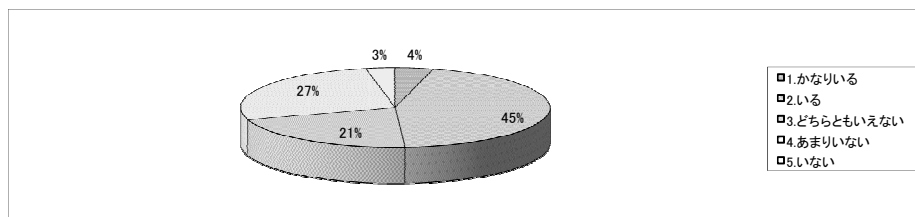
問10-3. あなたの地域で、生きもの調査などに関し、大学及びその関係者等と共同調査を行うなど連携の状況はいかがですか。

時期	1.行っていた	2.行っていなかった
本対策導入以前	1 (1%)	103 (99%)
現在	4 (4%)	100 (96%)



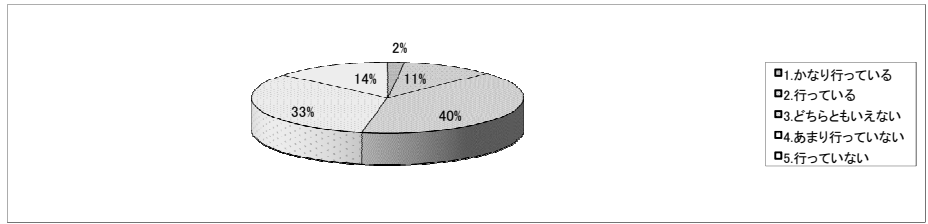
問11. あなたの地域では、地域のリーダーの後継者はいますか。

1.かなりいる	4 (4%)
2.いる	47 (45%)
3.どちらともいえない	22 (21%)
4.あまりいない	28 (27%)
5.いない	3 (3%)



問12. あなたの地域では、地域のリーダーの後継者となる人材を育成するような取組を行っていますか。

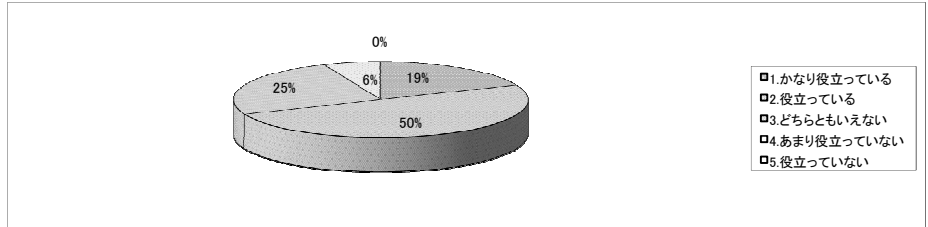
1.かなり行っている	2	2%
2.行っている	11	11%
3.どちらともいえない	42	40%
4.あまり行っていない	34	33%
5.行っていない	15	14%



問12-1.「1.かなり行っている」、「2.行っている」と答えた方にお聞きします。

人材育成するような取組に本対策が役立っていますか。

1.かなり役立っている	3	19%
2.役立っている	8	50%
3.どちらともいえない	4	25%
4.あまり役立っていない	1	6%
5.役立っていない	0	0%



地域づくりのための活動の状況等についておたずねします。

問13. あなたの地域では、地域に関わる話し合い(寄り合い※)は、年間何回くらい行われていますか。

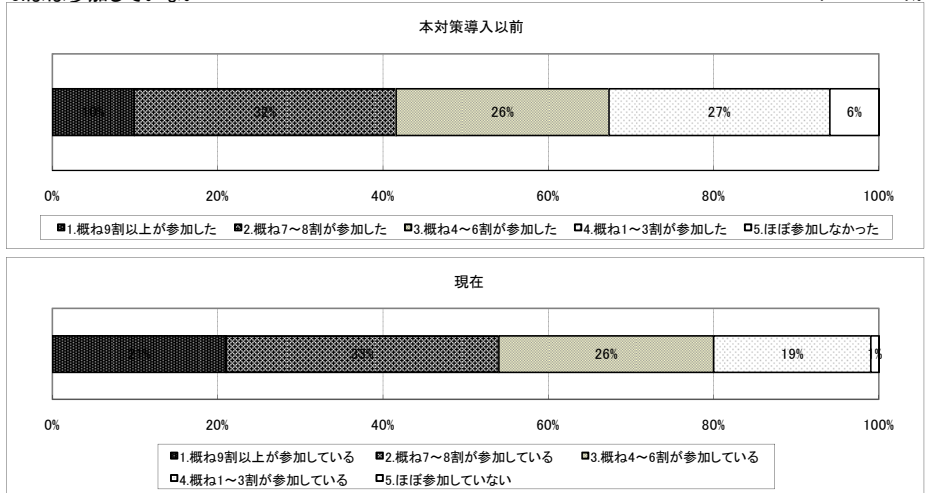
本対策導入以前 約 9 回

現在 約 15 回

※:「寄り合い」は、役員のみによる話し合いなどの数人の集まりも対象です。

問13-1. 上記の地域に関わる話し合いには、どの程度の地域住民(世帯)が参加されていますか。

本対策導入以前	1.概ね9割以上が参加した	10	10%
	2.概ね7~8割が参加した	33	32%
	3.概ね4~6割が参加した	27	26%
	4.概ね1~3割が参加した	28	27%
	5.ほぼ参加しなかった	6	6%
現在	1.概ね9割以上が参加している	22	21%
	2.概ね7~8割が参加している	34	33%
	3.概ね4~6割が参加している	27	26%
	4.概ね1~3割が参加している	20	19%
	5.ほぼ参加していない	1	1%



問14. あなたの地域では、「行事やイベント※など」は、年間何回くらい行われましたか。

※: イベントには、本対策とは関わりのない活動(ゲートボール大会等)も含まれます。

本対策導入以前 約 6 回

現在 約 7 回

問14-1. 「行事やイベント」のうち、「都市や近隣地域との交流活動」は、年間何回くらい行われましたか。

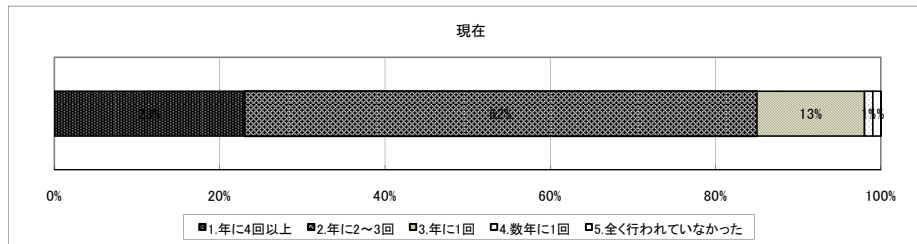
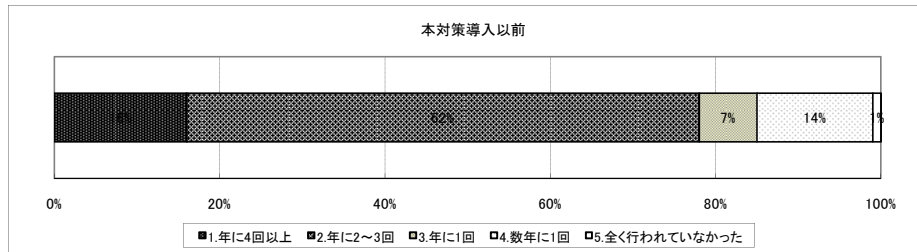
本対策導入以前 約 1 回

現在 約 2 回

問14-2. 「行事やイベント」のうち、「伝統行事(村祭り等)の開催状況」は、どの程度だと思いますか。

本対策導入以前現在	1.年に4回以上	17	16%
	2.年に2~3回	64	62%
	3.年に1回	7	7%
	4.数年に1回	15	14%
	5.全く行われていなかった	1	1%

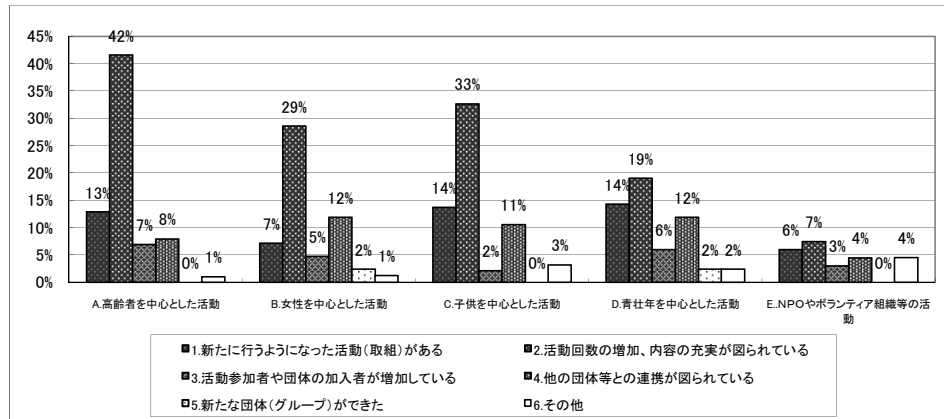
現在	1.年に4回以上	24	23%
	2.年に2~3回	64	62%
	3.年に1回	14	13%
	4.数年に1回	1	1%
	5.全く行われていなかった	1	1%



問15. あなたの地域では、この対策がきっかけとなって、地域の団体等の活動状況等変わった点がありますか。本対策における共同活動に限らず、その他の活動についても考慮してください。

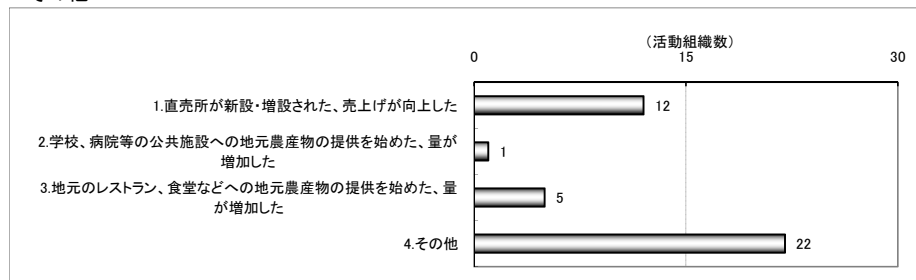
A. 高齢者を中心とした活動	1.新たに行うようになった活動(取組)がある	13	13%
	2.活動回数の増加、内容の充実が図られている	42	42%
	3.活動参加者や団体の加入者が増加している	7	7%
	4.他の団体等との連携が図られている	8	8%
	5.新たな団体(グループ)ができた	0	0%
	6.その他	1	1%
	7.変わらない	30	30%
B. 女性を中心とした活動	1.新たに行うようになった活動(取組)がある	6	7%
	2.活動回数の増加、内容の充実が図られている	24	29%
	3.活動参加者や団体の加入者が増加している	4	5%
	4.他の団体等との連携が図られている	10	12%
	5.新たな団体(グループ)ができた	2	2%
	6.その他	1	1%
	7.変わらない	37	44%
C. 子供を中心とした活動	1.新たに行うようになった活動(取組)がある	13	14%
	2.活動回数の増加、内容の充実が図られている	31	33%
	3.活動参加者や団体の加入者が増加している	2	2%
	4.他の団体等との連携が図られている	10	11%
	5.新たな団体(グループ)ができた	0	0%
	6.その他	3	3%
	7.変わらない	36	38%
D. 青壮年を中心とした活動	1.新たに行うようになった活動(取組)がある	12	14%
	2.活動回数の増加、内容の充実が図られている	16	19%
	3.活動参加者や団体の加入者が増加している	5	6%
	4.他の団体等との連携が図られている	10	12%
	5.新たな団体(グループ)ができた	2	2%

6.その他	2	2%
7.変わらない	37	44%
E..NPOやボランティア組織等の活動		
1.新たに行うようになった活動(取組)がある	4	6%
2.活動回数の増加、内容の充実が図られている	5	7%
3.活動参加者や団体の加入者が増加している	2	3%
4.他の団体等との連携が図られている	3	4%
5.新たな団体(グループ)ができた	0	0%
6.その他	3	4%
7.変わらない	50	75%



問16. あなたの地域では、この対策がきっかけとなって地産地消の取組等に何か変化がありましたか。

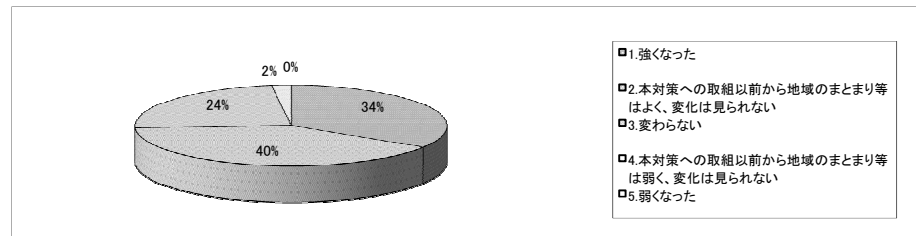
1.直売所が新設・増設された、売上げが向上した	12	12%
2.学校、病院等の公共施設への地元農産物の提供を始めた、量が増加した	1	1%
3.地元のレストラン、食堂などへの地元農産物の提供を始めた、量が増加した	5	5%
4.その他	22	22%



活動を通じた地域住民の意識の変化などについて

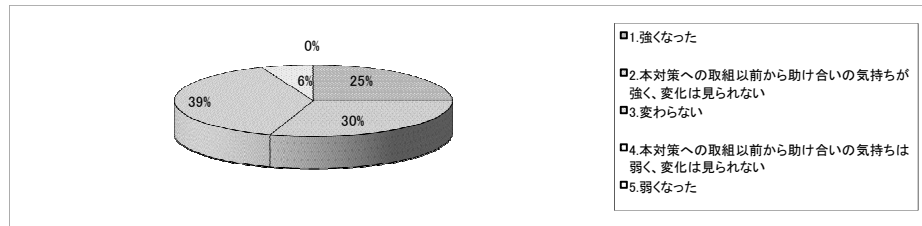
問17. 本対策への取組前後で、地域のまとまりや地域の人と人とのつながりが変化したと思いますか。

1.強くなった	35	34%
2.本対策への取組以前から地域のまとまり等はよく、変化は見られない	42	40%
3.変わらない	25	24%
4.本対策への取組以前から地域のまとまり等は弱く、変化は見られない	2	2%
5.弱くなった	0	0%



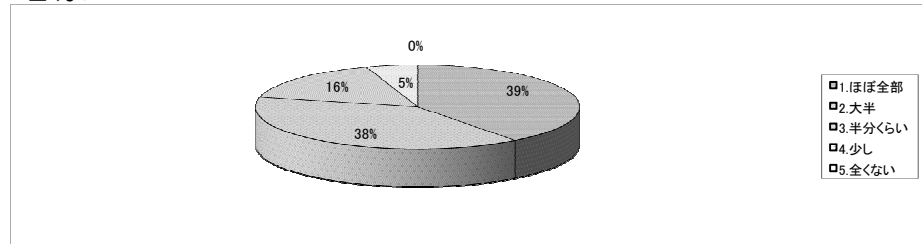
問17-1. 本対策への取組前後で、相互の助け合いの気持ちが地域全体で変化したと思いますか。

1.強くなった	26	25%
2.本対策への取組以前から助け合いの気持ちが強く、変化は見られない	31	30%
3.変わらない	41	39%
4.本対策への取組以前から助け合いの気持ちは弱く、変化は見られない	6	6%
5.弱くなった	0	0%



問18. 農地や農業用水路等の保全活動への参加状況などから判断して、地域住民の農業者のうち、地域の農地や農業用水路等の資源は自分たちで守りたいと感じている方は、どの程度いると思いますか。

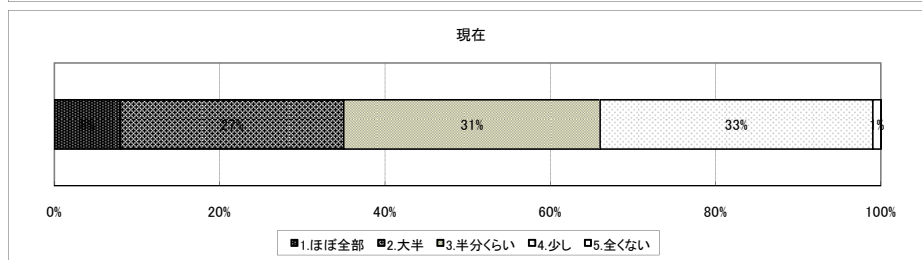
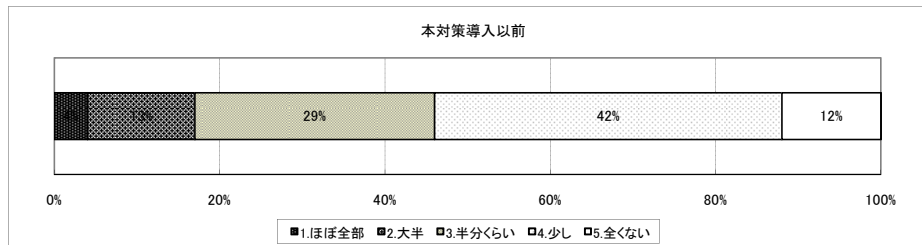
現在	1. ほぼ全部	2. 大半	3. 半分くらい	4. 少し	5. 全くない
	41	40	17	5	0
	39%	38%	16%	5%	0%



問19. 同様に、地域住民の非農業者のうち、地域の農地や農業用水路等の資源は自分たちで守りたいと感じている方は、どの程度いると思いますか。

本対策導入以前	1. ほぼ全部	2. 大半	3. 半分くらい	4. 少し	5. 全くない
	4	13	30	44	12
	4%	13%	29%	42%	12%

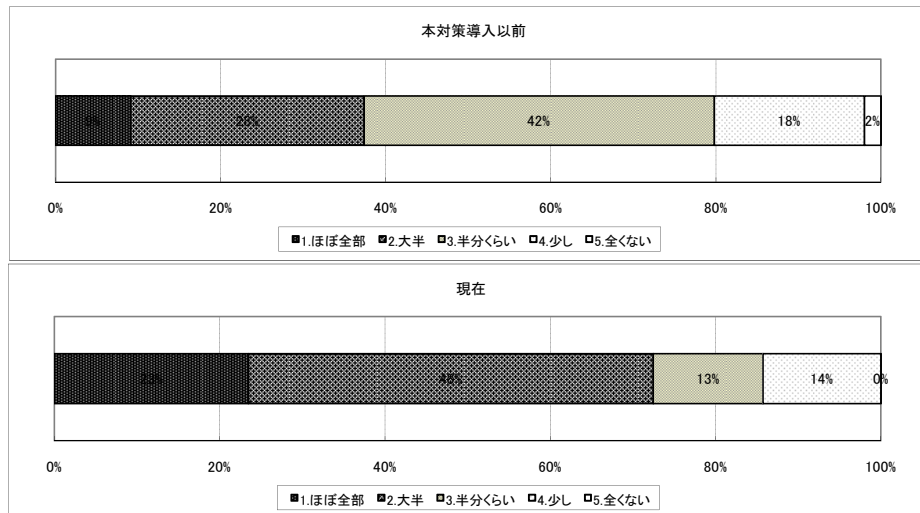
現在	1. ほぼ全部	2. 大半	3. 半分くらい	4. 少し	5. 全くない
	8	28	32	34	1
	8%	27%	31%	33%	1%



問20. 農村環境の保全活動への参加状況などから判断して、地域住民の農業者のうち、地域の自然環境や景観は自分たちで守りたいと感じている方は、どの程度いると思いますか。

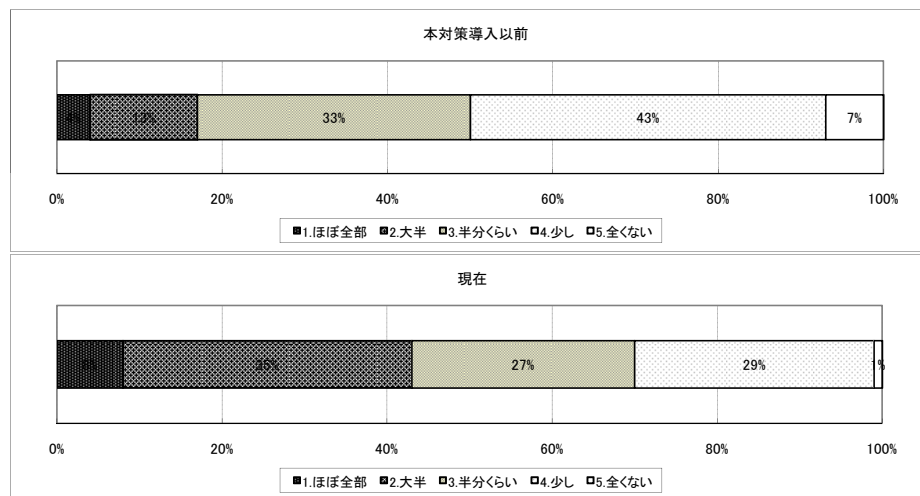
本対策導入以前	1. ほぼ全部	2. 大半	3. 半分くらい	4. 少し	5. 全くない
	9	29	44	19	2
	9%	28%	42%	18%	2%

現在	1. ほぼ全部	2. 大半	3. 半分くらい	4. 少し	5. 全くない
	24	50	14	15	0
	23%	48%	13%	14%	0%



問21. 同様に、地域住民の非農業者のうち、地域の自然環境や景観は自分たちで守りたいと感じている方は、どの程度いると思いますか。

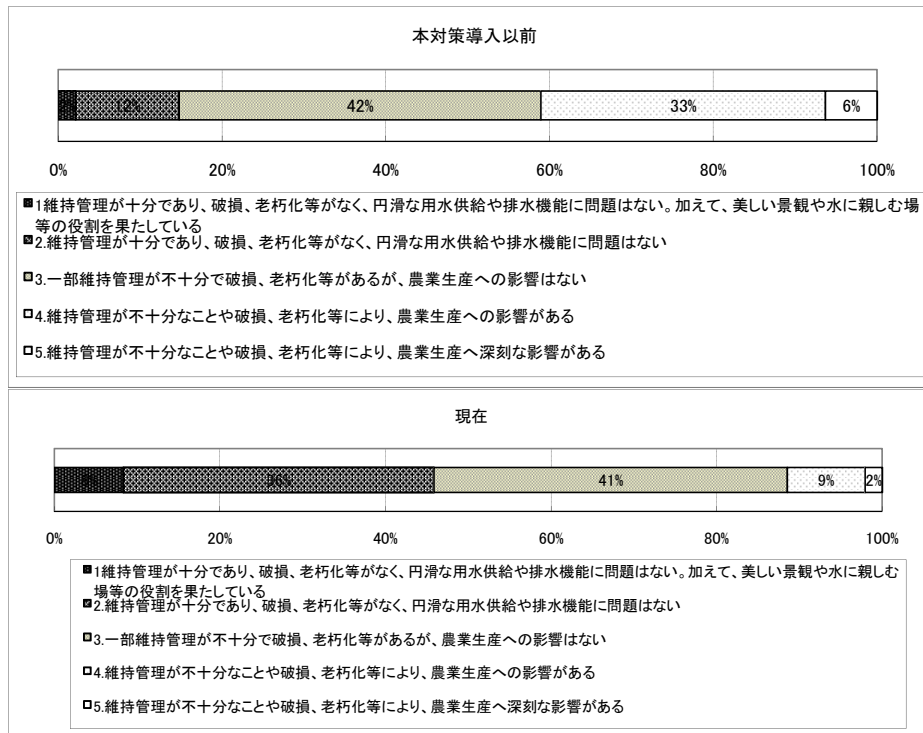
時期	回答	人数	割合
本対策導入以前	1.ほぼ全部	4	4%
	2.大半	13	13%
	3.半分くらい	34	33%
	4.少し	45	43%
	5.全くない	7	7%
現在	1.ほぼ全部	8	8%
	2.大半	36	35%
	3.半分くらい	28	27%
	4.少し	30	29%
	5.全くない	1	1%



活動の対象としている施設の状況などについておたずねします。

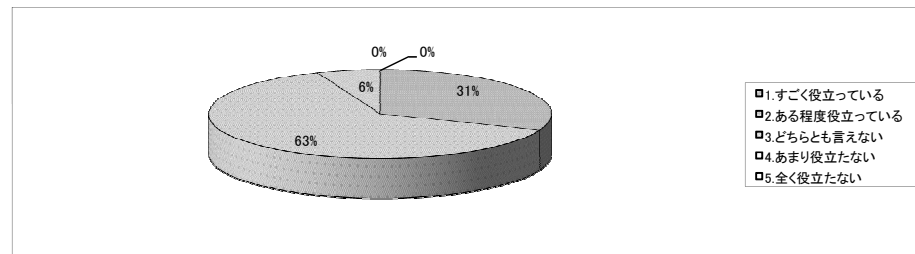
問22. あなたの地域の開水路の用排水機能について、次のうちどれに該当すると思いますか。

時期	回答	人数	割合
本対策導入以前	1.維持管理が十分であり、破損、老朽化等がなく、円滑な用水供給や排水機能に問題はない。加えて、美しい景観や水に親しむ場等の役割を果たしている	2	2%
	2.維持管理が十分であり、破損、老朽化等がなく、円滑な用水供給や排水機能に問題はない	12	12%
	3.一部維持管理が不十分で破損、老朽化等があるが、農業生産への影響はない	44	42%
	4.維持管理が不十分なことや破損、老朽化等により、農業生産への影響がある	34	33%
	5.維持管理が不十分なことや破損、老朽化等により、農業生産へ深刻な影響がある	6	6%
現在	1.維持管理が十分であり、破損、老朽化等がなく、円滑な用水供給や排水機能に問題はない。加えて、美しい景観や水に親しむ場等の役割を果たしている	8	8%
	2.維持管理が十分であり、破損、老朽化等がなく、円滑な用水供給や排水機能に問題はない	37	36%
	3.一部維持管理が不十分で破損、老朽化等があるが、農業生産への影響はない	43	41%
	4.維持管理が不十分なことや破損、老朽化等により、農業生産への影響がある	9	9%
	5.維持管理が不十分なことや破損、老朽化等により、農業生産へ深刻な影響がある	2	2%



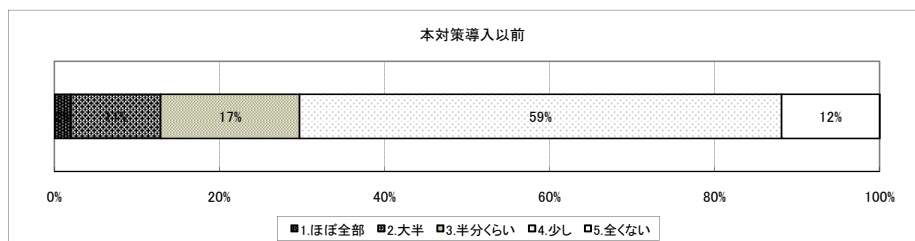
問23. 開水路の保全について、本対策による共同活動がどの程度役立っていると思いますか。

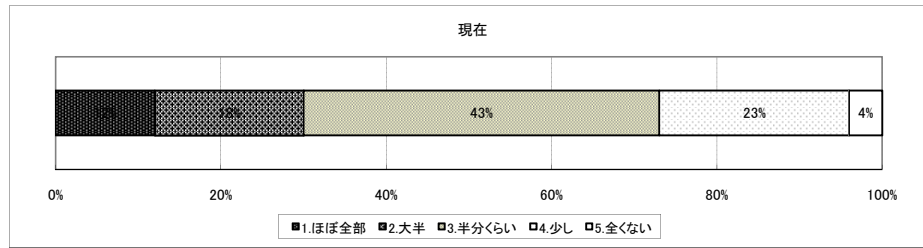
1. すごく役立っている	32	31%
2. ある程度役立っている	66	63%
3. どちらとも言えない	6	6%
4. あまり役立たない	0	0%
5. 全く役立たない	0	0%



問24. 活動の対象となる開水路のうち、破損箇所の補修など、施設の長寿命化に関する活動を行った施設の割合はどの程度だと思いますか。

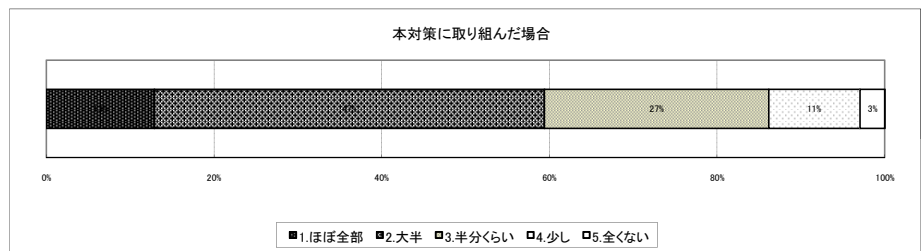
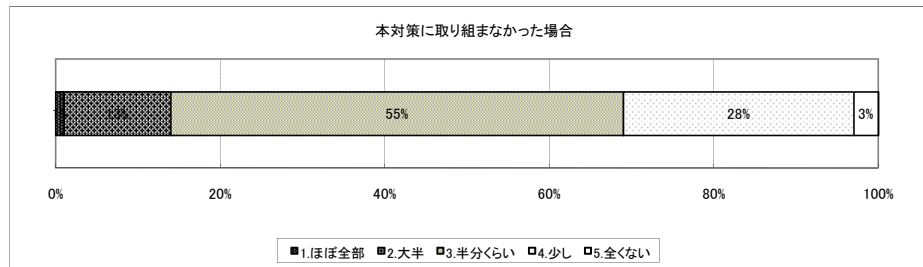
時期	Category	Count	Percentage
本対策導入以前	1. ほぼ全部	2	2%
	2. 大半	11	11%
	3. 半分くらい	18	17%
	4. 少し	61	59%
	5. 全くない	12	12%
現在	1. ほぼ全部	12	12%
	2. 大半	19	18%
	3. 半分くらい	45	43%
	4. 少し	24	23%
	5. 全くない	4	4%





問25. 活動の対象となる開水路のうち、10年先まで支障なく水が流れると思われる割合はどの程度だと思いますか。本対策に取り組まなかった場合もイメージしてお答えください。

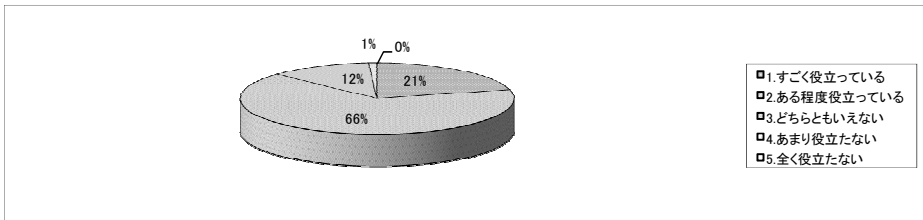
本対策に取り組まなかった場合	回答	割合
本対策に取り組まなかった場合	1. ほぼ全部	1%
	2. 大半	13%
	3. 半分くらい	55%
	4. 少し	28%
	5. 全くない	3%
本対策に取り組んだ場合	回答	割合
本対策に取り組んだ場合	1. ほぼ全部	13%
	2. 大半	47%
	3. 半分くらい	27%
	4. 少し	11%
	5. 全くない	3%



問26. あなたの地域の農道の機能について、次のうちどれに該当すると思いますか。

問27. 農道の保全について、本対策による共同活動がどの程度役立っていると思いますか。

回答	人数	割合
1. すごく役立っている	22	21%
2. ある程度役立っている	69	66%
3. どちらともいえない	12	12%
4. あまり役立たない	1	1%
5. 全く役立たない	0	0%

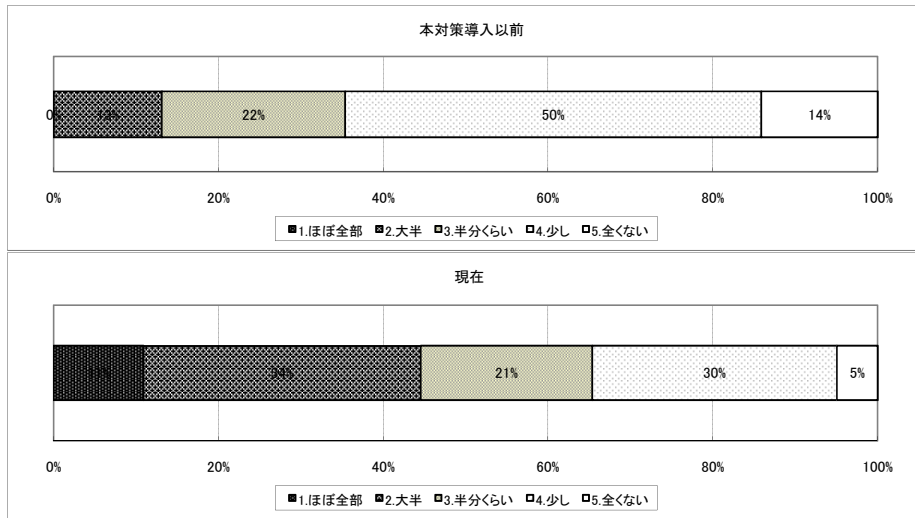


問28. 活動の対象となる農道のうち、破損箇所の補修など、施設の長寿命化に関する活動を行った施設の割合はどの程度だと思いますか。

本対策導入以前	回答	割合
本対策導入以前	1. ほぼ全部	0%
	2. 大半	13%
	3. 半分くらい	22%
	4. 少し	50%
	5. 全くない	14%

現在

1.ほぼ全部	11	11%
2.大半	35	34%
3.半分くらい	22	21%
4.少し	31	30%
5.全くない	5	5%

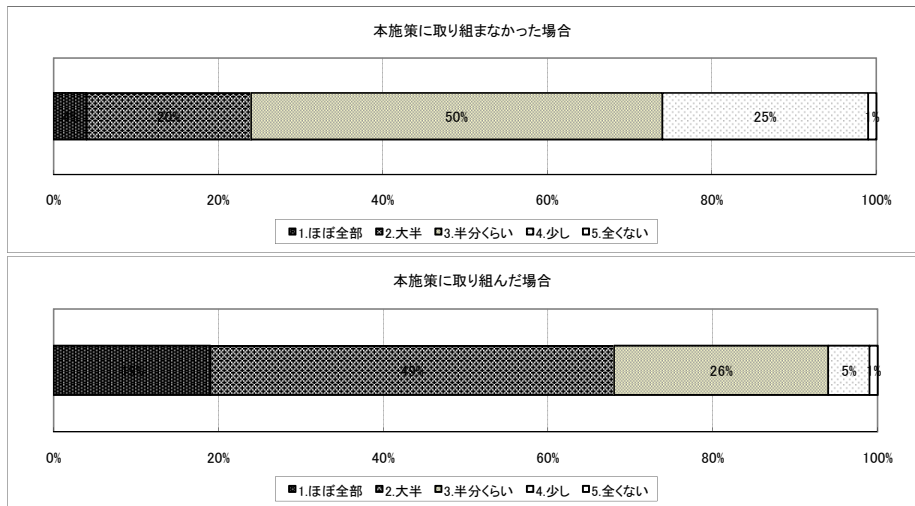


問29. 活動の対象となる農道のうち、10年先まで支障なく車の通行が可能だと思われる割合はどの程度だと思いますか。本対策に取り組まなかった場合もイメージしてお答えください。

本対策に取り組まなかった場合	1.ほぼ全部	4	4%
	2.大半	21	20%
	3.半分くらい	52	50%
	4.少し	26	25%
	5.全くない	1	1%

本対策に取り組んだ場合

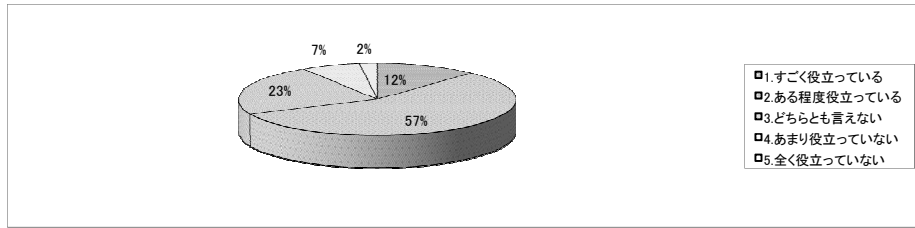
1.ほぼ全部	20	19%
2.大半	51	49%
3.半分くらい	27	26%
4.少し	5	5%
5.全くない	1	1%



農地の状況等についておたずねします。

問30. 耕作放棄地の発生防止など農地の保全について、本対策による共同活動がどの程度役立っていると思いますか。

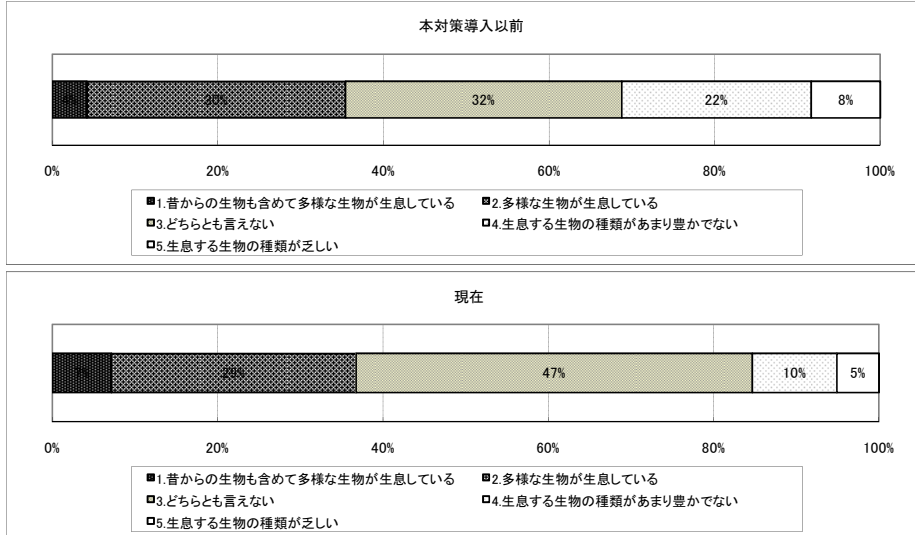
1.すごく役立っている	12	12%
2.ある程度役立っている	59	57%
3.どちらとも言えない	24	23%
4.あまり役立っていない	7	7%
5.全く役立っていない	2	2%



地域の農村環境の状況等についておたずねします。

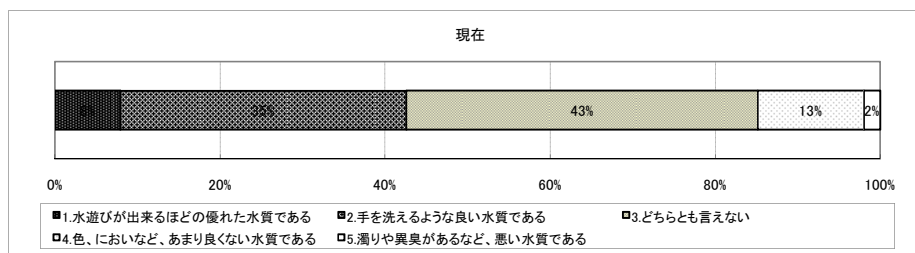
問31. あなたの地域の生態系について、次のうちどれに該当すると思いますか。

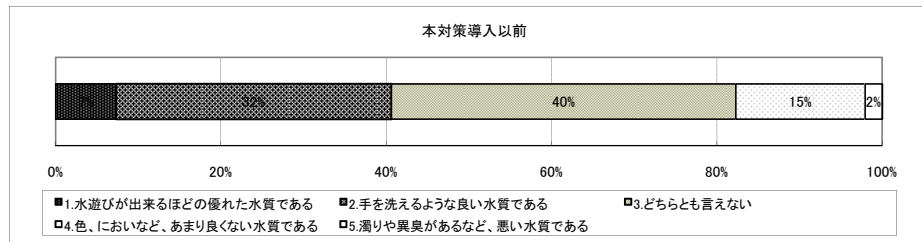
時期	1. 昔からの生物も含めて多様な生物が生息している	2. 多様な生物が生息している	3. どちらとも言えない	4. 生息する生物の種類があまり豊かでない	5. 生息する生物の種類が乏しい
本対策導入以前	4	31	33	23	8
現在	7	30	49	10	5



問32. あなたの地域の水質について、次のうちどれに該当すると思いますか。

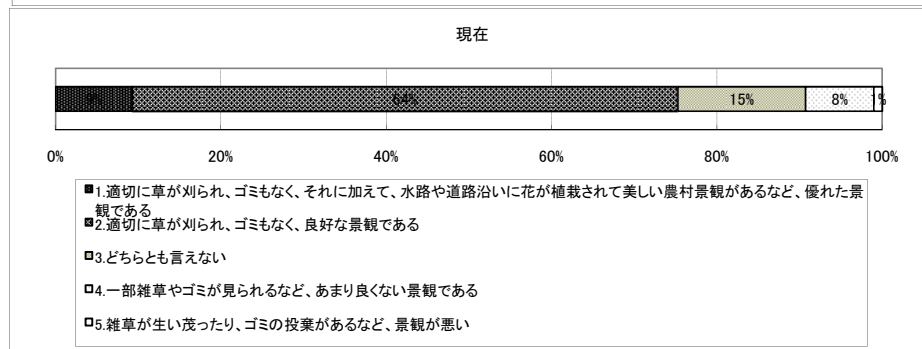
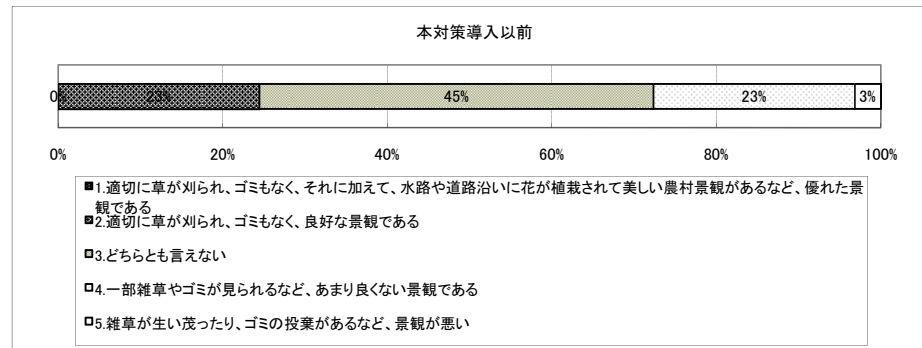
時期	1. 水遊びが出来るほどの優れた水質である	2. 手を洗えるような良い水質である	3. どちらとも言えない	4. 色、においなど、あまり良くない水質である	5. 濁りや異臭があるなど、悪い水質である
本対策導入以前	7	33	42	15	2
現在	8	36	43	13	2





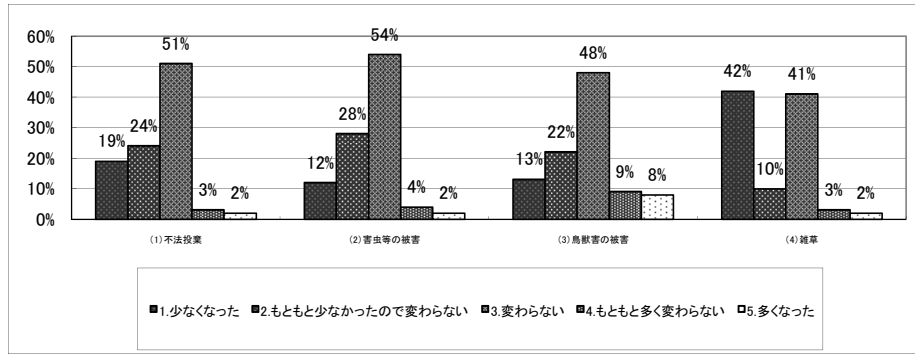
問33. あなたの地域の景観について、次のうちどれに該当すると思いますか。

評価	本対策導入以前	現在
1.適切に草が刈られ、ゴミもなく、それに加えて、水路や道路沿いに花が植栽されて美しい農村景観があるなど、優れた景観である	0	9
2.適切に草が刈られ、ゴミもなく、良好な景観である	24	67
3.どちらとも言えない	47	16
4.一部雑草やゴミが見られるなど、あまり良くない景観である	24	8
5.雑草が生い茂ったり、ゴミの投棄があるなど、景観が悪い	3	1



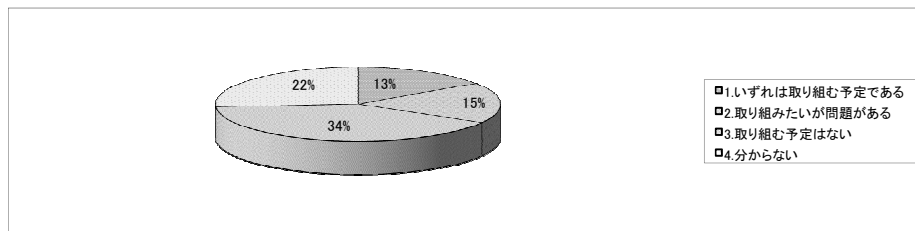
問34. 対策への取組前後で、不法投棄や害虫や鳥獣害の発生状況等に変化はありましたか。

項目	評価	件数	割合
(1) 不法投棄	1.少なくなった	20	19%
	2.もともと少なかったので変わらない	25	24%
	3.変わらない	53	51%
	4.もともと多く変わらない	3	3%
	5.多くなった	2	2%
(2) 害虫等の被害	1.少なくなった	12	12%
	2.もともと少なかったので変わらない	29	28%
	3.変わらない	56	54%
	4.もともと多く変わらない	4	4%
	5.多くなった	2	2%
(3) 鳥獣害の被害	1.少なくなった	13	13%
	2.もともと少なかったので変わらない	23	22%
	3.変わらない	50	48%
	4.もともと多く変わらない	9	9%
	5.多くなった	8	8%
(4) 雑草	1.少なくなった	44	42%
	2.もともと少なかったので変わらない	10	10%
	3.変わらない	43	41%
	4.もともと多く変わらない	3	3%
	5.多くなった	2	2%



問35. 今後、営農活動支援に取り組む予定はありますか

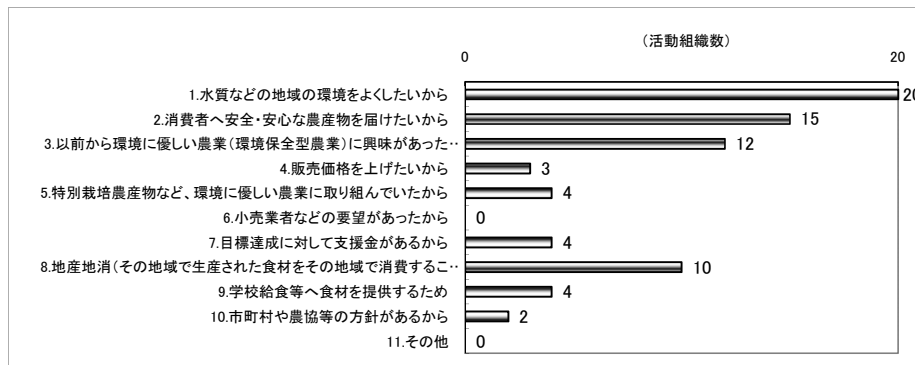
1. いずれは取り組む予定である	14	13%
2. 取り組みたいが問題がある	16	15%
3. 取り組む予定はない	35	34%
4. 分からない	23	22%



問35-1. 「1. いずれは取り組む予定である」「2. 取り組みたいが問題がある」と回答された方におたずねします。

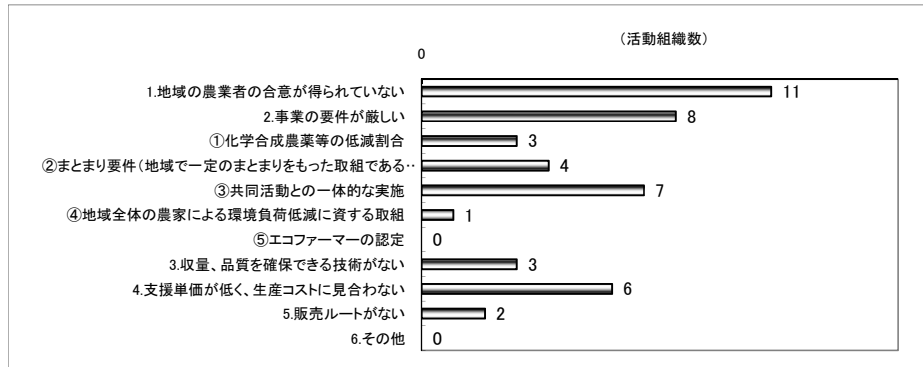
いずれ取り組みたいとする理由は何のようなものですか。(複数回答)

1. 水質などの地域の環境をよくしたいから	20	19%
2. 消費者へ安全・安心な農産物を届けたいから	15	14%
3. 以前から環境に優しい農業(環境保全型農業)に興味があったから	12	12%
4. 販売価格を上げたいから	3	3%
5. 特別栽培農産物など、環境に優しい農業に取り組んでいたから	4	4%
6. 小売業者などの要望があったから	0	0%
7. 目標達成に対して支援金があるから	4	4%
8. 地産地消(その地域で生産された食材をその地域で消費すること)を推進するた	10	10%
9. 学校給食等へ食材を提供するため	4	4%
10. 市町村や農協等の方針があるから	2	2%
11. その他	0	0%



問35-2. 「2. 取り組みたいが問題がある」と回答された方におたずねします。その問題とは何でしょうか。

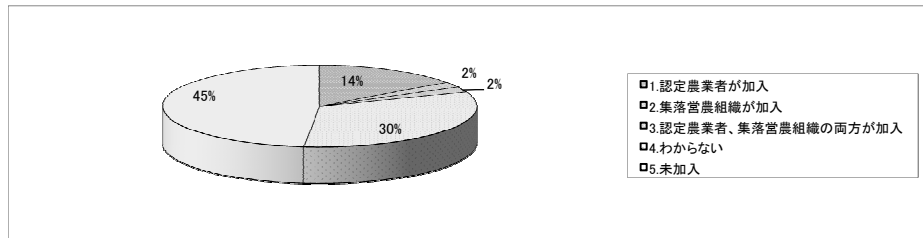
1. 地域の農業者の合意が得られていない	11	11%
2. 事業の要件が厳しい	8	8%
① 化学合成農薬等の低減割合	3	3%
② まとまり要件(地域で一定のまとまりをもった取組であること)	4	4%
③ 共同活動との一体的な実施	7	7%
④ 地域全体の農家による環境負荷低減に資する取組	1	1%
⑤ エコファーマーの認定	0	0%
3. 収量、品質を確保できる技術がない	3	3%
4. 支援単価が低く、生産コストに見合わない	6	6%
5. 販売ルートがない	2	2%
6. その他	0	0%



地域の農業等との関連についておたずねします。

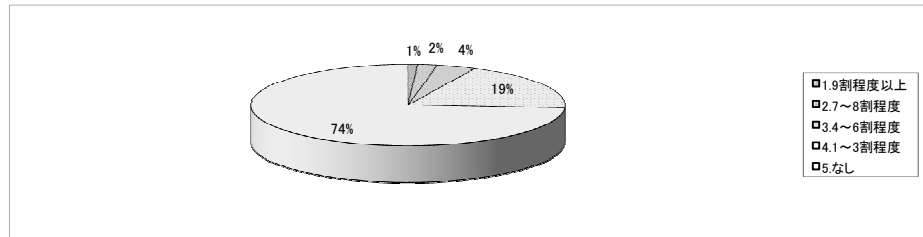
問36. 協定農用地内で、水田・畑作経営所得安定対策に加入している認定農業者、集落営農組織はありますか。

1.認定農業者が加入	15	14%
2.集落営農組織が加入	2	2%
3.認定農業者、集落営農組織の両方が加入	2	2%
4.わからない	31	30%
5.未加入	47	45%



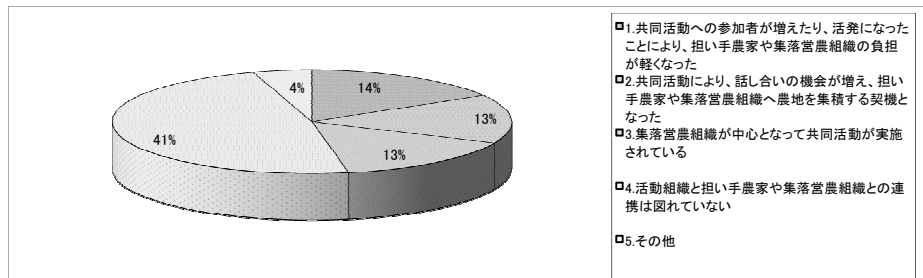
問36-1. 水田・畑作経営所得安定対策との重複面積の割合は、協定農用地面積のどの程度だと思えますか。

1.9割程度以上	1	1%
2.7～8割程度	2	2%
3.4～6割程度	4	4%
4.1～3割程度	20	19%
5.なし	74	74%



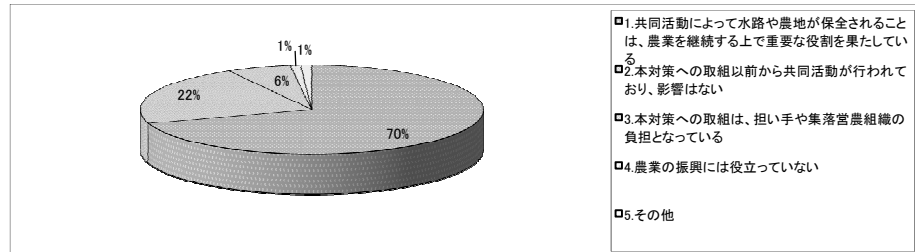
問37. 本対策の活動組織は担い手農家や集落営農組織とどのように関係していますか。

1.共同活動への参加者が増えたり、活発になったことにより、担い手農家や集落営農組織の負担が軽くなった	15	14%
2.共同活動により、話し合いの機会が増え、担い手農家や集落営農組織へ農地を集積する契機となった	14	13%
3.集落営農組織が中心となって共同活動が実施されている	13	13%
4.活動組織と担い手農家や集落営農組織との連携は図れていない	43	41%
5.その他	4	4%



問38. 本対策への取組(共同活動)は、今後のこの地域における農業の振興に役立っていると思いますか。

1.共同活動によって水路や農地が保全されることは、農業を継続する上で重要な役割を果たしている	73	70%
2.本対策への取組以前から共同活動が行われており、影響はない	23	22%
3.本対策への取組は、担い手や集落営農組織の負担となっている	6	6%
4.農業の振興には役立っていない	1	1%
5.その他	1	1%



最後に、本対策で実施した活動についておたずねします。

問40. 共同活動支援に取り組む上で苦労されている点、問題点はありますか。(複数回答)

1.事務手続の煩雑さ	68	65%
2.役員への負担の集中	75	72%
3.行事やイベントが増加することによる参加者の負担の増加	26	25%
4.従来、無償で実施してきた活動を有償化することへの懸念	23	22%
5.構成員(組織)間の合意形成や意見調整	20	19%
6.農業者・住民の意識の啓発・意欲の向上	25	24%
7.行政との信頼関係の構築	8	8%

